



# 苫小牧「近所の自然散歩」2023年度のまとめ

苫小牧「近所の自然散歩」は、今年度も、里山モニタリング調査「開花植物」「野鳥」「哺乳類」を実施しました。調査には11名(延べ58名)の方が参加し、一緒に調べました。調査に参加いただいた皆様、ありがとうございました。2024年度も、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

## ■モニタリングサイト 1000 里地調査について

全国約1000ヶ所で、動植物の生息状況を100年にわたって調べ続け、日本の自然環境の変化をとらえようという環境省プロジェクトです。このうち日本自然保護協会が実施する里地里山タイプの調査地として「苫小牧近所の自然散歩」開催地が登録されています。市民参加ボランティア調査です。

## ■2023年度の調査結果

### ☆草花の調査

4月～10月(8月休み)全6回、植物調査を行い214種類の記録をしました。草本の蕾、花、実のある植物を記録。木本、イネ科、カヤツリグサ科、シダ植物は調査対象外ですが、観察したものは記録しています。2023年度の植物リストは別紙の表(全4ページ)に掲載します。

2023年度は、シカの食害により見られなくなった種を確認するため、過去に記録がある種類を探しながら調査しました。探した成果か、セイタカスズムシソウ、ヤマトキソウ、クサコアカソ、エノキグサ、スマレ、イチゲフウロ、ハマハタザオ、タチハコベ、アカザ、イチヤクソウ、ヒトツバイチヤクソウ、イケマ、ナミキソウ、ハナニガナの14種が数年ぶりに記録できました。

逆に、意識して探したのに見つけられなかった種も多くあり。ランの仲間など毎年出ない種類もありますが、環境の変化や、シカの食害で見られなくなった種類が多いと考えられます。

過去に記録した植物リストも別途表にします。

### ☆野鳥の調査

繁殖期と越冬期のラインセンサス調査を行い、45種類を記録しました。昨年より2種減。

エゾムシクイ、オオムシクイが記録できなかったのは残念でした。クロツグミやモズも、数年記録なしです。新しい記録はヒバリ、ノビタキ(植物調査中)の2種でした。

2023年度の出現種は別紙の表に掲載します。

### ☆哺乳類の調査

自動撮影カメラを設置し、撮影された哺乳類を記録する調査です。2023年は、キツネ、タヌキ、ニホンジカ、キタリス、コウモリ類、ネコが記録されました。

2019年からのまとめを別紙に掲載します。

2024年の予定は、裏面へ。

主催・発行：自然ウォッチングセンター 島田さとみ

Tel011-583-5208、Fax011-583-5233、携帯090-6872-3045

Eメール ohyou-nire@s2.dion.ne.jp ホームページ <http://shizen.la.coocan.jp/>